



平成 27 年 10 月 29 日

各 位

会社名 三井造船株式会社
 代表者名 代表取締役社長 田中 孝雄
 (コード：7003、東証第一部)
 問合せ先 執行役員 財務経理部長 塩見 裕一
 (TEL 03-3544-3225)

連結決算及び個別決算における損失の計上並びに 業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ

当社は、平成 28 年 3 月期第 2 四半期連結決算において、連結子会社で発生した一部工事に係る損失を織り込み、前回（平成 27 年 7 月 31 日）公表した平成 28 年 3 月期第 2 四半期連結累計期間並びに通期の業績予想を修正しましたのでお知らせいたします。あわせて、個別決算における特別損失の計上及び配当予想の修正につきましてお知らせいたします。

記

1. 連結決算における損失の計上

当社の連結子会社において海外船主から受注した海洋支援船 4 隻の建造を進めておりますが、設計変更や不具合の発生等により工期が遅延しております。これに伴い、後戻り作業や購入資機材等の追加費用が見込まれるため、当第 2 四半期決算において、受注工事損失引当金の計上を含め、工事全体で約 38 億円の損失（売上原価）を計上いたします。

2. 連結業績予想の修正

平成 28 年 3 月期第 2 四半期（累計）連結業績予想数値の修正（平成 27 年 4 月 1 日～平成 27 年 9 月 30 日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1 株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	390,000	1,000	4,000	500	0.62
今回修正予想 (B)	380,000	△900	2,400	△1,100	△1.36
増減額 (B-A)	△10,000	△1,900	△1,600	△1,600	—
増減率 (%)	△2.6	—	△40.0	—	—
(ご参考) 前期第 2 四半期実績 (平成 27 年 3 月期第 2 四半期)	352,431	8,655	9,131	4,313	5.26

平成 28 年 3 月期通期連結業績予想数値の修正（平成 27 年 4 月 1 日～平成 28 年 3 月 31 日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1 株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	830,000	22,000	25,000	13,000	16.08
今回修正予想 (B)	830,000	18,000	22,000	13,000	16.08
増減額 (B-A)	0	△4,000	△3,000	0	—
増減率 (%)	0.0	△18.2	△12.0	0.0	—
(ご参考) 前期実績 (平成 27 年 3 月期)	816,520	13,298	14,899	9,463	11.63

修正の理由

第2四半期連結累計期間

売上高は一部工事において若干の進捗遅れが見られるもののほぼ計画どおりに推移しています。営業利益は、上記理由により船舶海洋セグメントで減益となりますが、販売費及び一般管理費の発生が下期にずれ込んだこと等による影響により、前回発表予想と比べて約19億円の減益にとどまります。経常利益及び親会社に帰属する四半期純利益については、主に営業利益の減少の影響により前回発表予想を下回る見込みです。

通期

売上高は前回発表予想から変わりませんが、営業利益及び経常利益については上記の船舶海洋セグメントでの採算悪化の影響により前回発表予想を下回る見込みです。親会社株主に帰属する当期純利益は、主に特別利益項目について想定より増加が見込まれることなどから前回予想を据え置きます。

なお、本業績見通しの前提となる為替レートは、平成27年4月28日に公表した1米ドル=115円から変更ありません。

<ご参考>

平成28年3月期 セグメント別通期連結業績予想数値の修正（平成27年4月1日～平成28年3月31日）

	前回予想		今回修正予想		増減額	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円
船舶海洋	440,000	3,000	450,000	△1,000	10,000	△4,000
機 械	180,000	12,000	180,000	12,000	0	0
エンジニアリング	170,000	4,000	160,000	4,000	△10,000	0
そ の 他	40,000	3,000	40,000	3,000	0	0
合 計	830,000	22,000	830,000	18,000	0	△4,000

3. 個別決算における損失の計上

前回公表した、米国での化学プラント建設工事において損失を計上した連結子会社について、当社が増資により財政支援していましたが、工事の遂行による損失の計上に伴い同社株式の実質価値が著しく低下したため、当社個別決算において約30億円の関係会社株式評価損を特別損失に計上いたします。なお、関係会社株式評価損は、連結決算では相殺消去されるため連結業績には影響いたしません。また、当該プラントは建設工事を完了しており、前回お知らせした引当金を超える追加損失は発生していません。

4. 配当予想の修正

	年間配当金（円）				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
前回予想	-	0.00	-	3.00～4.00	3.00～4.00
今回修正予想	-	0.00	-	4.00	4.00
当期実績	-				
前期実績 (平成27年3月期)	-	0.00	-	2.00	2.00

修正の理由

前回予想（平成27年4月28日）では、通期業績の下振れを懸念して配当予想に幅を持たせていましたが、上記のとおり、親会社株主に帰属する当期純利益が期初予想の130億円となる見込みのため、配当予想を前回の3～4円から4円に変更いたします。

（注）上記予想は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は今後様々な要因により上記数値と異なる可能性があります。

以上